

診療体制部会 活動報告書

部会長 稲葉雄二

1. 今年度の活動のポイント

- ・発達障がい診療地域連絡会：地域での活動の充実、事例検討の浸透、信大からのスーパーバイザーの参加など、より充実してきている
- ・人材育成事業：専門医を 40 名認定、ここまでは既に診療実績のある医師が多かったが、今後新規受講者が順次認定される見通し。かかりつけ医研修会は台風のため中止。福祉の講義のニーズがある。
- ・災害対応：特に避難所に行くことに抵抗がある場合が多く、対策が必要。
- ・入院が必要な症例を受け入れる病床が不足している。長野県立病院機構第 3 期中期計画と合わせ、充実を要望する。

2. 今後の方向性

- ・人材育成と各地域での診療体制の充実・・・継続
診療できる医師の偏在についても検討課題
- ・円滑な成人期医療への移行
小児医療と精神医療の対応などの相違を医師も患者側も知ることが大切
リーフレットのようなものを検討
- ・学習障害への対応
医療で行うべきことをライフステージごとに分けて整理し、体制の構築と啓発を検討する。

3. 来年度取り組むべきこと

- 上記について、順次進める。
- 学習障害への対応については連携・支援部会と協働して進める。